

## はじめに

「食」は命の源であり、私たちが健やかに生きるためには欠かすことができない大切なものです。また、健康で心豊かな生活を送るためには、健全な食生活を日々実践し、おいしく楽しく食べることやそれを支える環境づくり等が重要です。

札幌市では、平成20年に「札幌市食育推進計画」を策定し、以来5年ごとに評価を行いながら新たな計画に基づいた取組を関係機関や団体、企業等と連携した食育の取組を進め、現在、多彩な活動が広がってきております。



食育に関心を持つ市民は徐々に増加傾向にありますが、関心の度合いが世代等により異なり、ともに、健全な食生活の実践までには至っていない人が多い状況にありました。特に若い世代や働く世代においては、朝食の欠食や野菜摂取量が少なく、栄養のバランスを考えた食事を実践している人の割合が低いなどの課題が多く見受けられました。高齢化が進行する中においては、健康寿命の延伸や生活習慣病の予防が大切であり、栄養バランスに配慮した食生活の重要性は増しています。

また、食品ロスの削減や「農」体験、食の安全性に関する知識などへの関心が高まってきておりますが、依然として解決すべき課題を抱えております。

このような状況を踏まえ、食育に関する施策を健康寿命の延伸に向けてさらに充実させるため、この度、「食を通して豊かな人間性を育みます」を基本理念とした、「第4次札幌市食育推進計画」を策定いたしました。

これからの人生100年時代を見据え、誰もが生涯にわたって心身ともに健康で、いきいきと充実した生活を送ることができるよう、市民の皆様をはじめ、関係機関や団体、企業等と連携・協働しながら推進してまいりたいと考えておりますので、今後とも本計画の推進に一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この計画の策定にあたり、札幌市食育推進会議委員の方々をはじめ、貴重なご意見、ご提言をお寄せいただいた市民の皆様方に心から感謝申し上げます。

令和5年12月

札幌市長 秋元克広

# 目次

## 第1章 計画の策定にあたって

I 計画策定の経緯	1
II 計画の位置付け	1
III 計画期間	2

## 第2章 第3次札幌市食育推進計画の取組と評価

I 第3次札幌市食育推進計画の概要	3
II 第3次札幌市食育推進計画の取組	4
III 第3次札幌市食育推進計画 指標の達成状況	5
IV 札幌市の食育の現状と課題	6

## 第3章 基本理念と基本目標

I 基本理念	29
II 基本目標	29

## 第4章 施策の体系と展開

I 施策の体系	31
II 食育推進の指標	35
III 施策の展開(行動計画)	36
基本目標1 生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進	36
基本的施策1 ライフステージに応じた健康寿命の延伸につながる食育の推進	36
(1) 乳幼児期(0歳～)の食育の推進	37
(2) 学童期(6歳頃～)・思春期(12歳頃～)の食育の推進	40
(3) 成人期(20歳頃～)の食育の推進	43
(4) 高齢期(65歳頃～)の食育の推進	45
(5) 全世代共通の食育の推進	47
基本目標2 食の循環や環境・安全を意識した食生活の推進と食文化の継承	50
基本的施策1「農」とのふれあいを通じた食育の推進	50
(1) 「農」とのふれあいを通じた食育の推進	50
(2) 札幌の農業や農産物に関する理解の促進	52
(3) 地産地消の推進	52

基本的施策2 環境に配慮した食生活の推進	54
(1) 環境を考えた食生活の普及・啓発及び実践	54
(2) 食品ロスを少なくする社会環境づくり	55
基本的施策3 「食」の安全・安心の確保の推進	57
(1) 「食」の安全に関する知識の習得	57
(2) 事業者による自主的な取組の促進	59
(3) 市民・事業者との連携・協働による取組の促進	60
基本的施策4 食文化継承のための活動への支援	61
(1) 伝統的な食文化の継承・実践	61
基本目標3 食育推進体制の整備	63
基本的施策1 食育推進体制の整備	63
(1) 食育推進体制の整備	63
(2) 食育ボランティア等の活動及び活動の支援	65
(3) 「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進	67

## 第5章 計画の推進

I 計画推進における役割	68
II 食育推進体制	69
III 計画の進行管理・公表	69
IV 計画の見直し	69

## 資料編

I 関係団体の取組	71
II 札幌市食育サポート企業等一覧	78
III 計画策定について	78
IV パブリックコメント手続き	81
V 用語解説	83

※本文中の\*(アスタリスク)を付けた語句は、用語解説にその語句の説明を掲載しています。